

文部科学大臣 様

学校図書館の充実を求める署名

子どもたちがゆとりをもってじっくりと学び、豊かな心が育つ教育を実現することは、父母・保護者、国民、教職員の切実な願いです。学校において、このような教育活動を保障するうえで、学校図書館と学校司書の果たす役割は大きく、その充実が強く求められています。学校図書館は、学習に必要な図書を提供するとともに、さまざまな図書館活動を通して児童・生徒が読書への関心を高めるなど、人間的な成長を促しています。学校図書館を充実させるためには、十分な図書費を保障するとともに、「学校教育法」「学校図書館法」などを改正し、専任・専門・正規の学校司書制度を新たに確立することが必要です。

文部科学省は、2016年度以来学校図書館の現状に関する調査をおこなっていないため、国による調査結果は不明です。全国学校図書館協議会がおこなった、「2019年度全国学校図書館調査」では、学校司書の配置状況については、学校司書を配置している学校が、小学校79.9%（前年比+1.0ポイント）、中学校79.6%（-2.6ポイント）、高校85.2%（+0.1ポイント）となり、小・中学校において、10年前に5割程度であった数値が、どの校種も8割の配置率となっています。学校司書配置の必要性についての共通理解はある程度広まっているものと思われます。しかし正規職員の割合は小学校、中学校でそれぞれ13.7%（前年比+1.0ポイント）、15.3%（+5.7ポイント）と「正規雇用」化は進んでいません。小中では複数校勤務の割合がそれぞれ35.1%、24.8%と高く、勤務条件など制約の多いなかで、優れた専門性を発揮し学校図書館の機能を十分に果たしていくのは難しく、研修の機会も十分に得られません。

2018年度決算の1校あたり平均図書購入費は、小学校49.8万円（前年度比+0.9万円）中学校58.7万円（前年度比-9.3万円）、高等学校80.2万円（前年度比+6.8万円）となり、中学校のみ大幅な減少が見られています。児童・生徒1人あたりの平均蔵書数は、小学校28.2冊（前年度比+1.5冊）、中学校34.2冊（+3.4冊）、高校38.0冊（+2.6冊）となっています。今回の調査では前年比では、各校種とも微増していますが、10年間のスパンで見ると横ばい（2009年、小21.6冊・中27.7冊、高33.9冊）であると言えます。2009年との比較では、小・中学校で約7冊、高校では約4冊増加していますが、学習に必要な冊数が毎年少しずつでも増加していくことが望ましく、学校図書館としての機能を十分果たしていくためにも、今後、更なる充実が求められます。

こうした現状の中、第5次「学校図書館図書整備5か年計画」（2017年度スタート）で小中学校の学校司書配置について、国が地方財政措置を充実させたことは、学校司書の全校配置をさらにすすめる重要な施策とはいえません。加えて、学校図書館法第6条の「専ら学校図書館の職務に従事する職員（以下「学校司書」という。）を置くよう努めなければならない」とされたものを「置かなければならない」にするなど、実効あるものとし、専任・専門・正規の学校司書の配置につなげていくことが必要です。

つきましては、以下の事項を早急に実現していただくよう求めます。

記

1. 学校図書館費の図書整備費を大幅に増額すること。特に、災害や統廃合などで整備ができていないところに十分に配慮すること。
2. すべての学校に専任・専門・正規の学校司書を配置できるよう、学校図書館法に「学校司書をおかなければならない職、学校図書館の専門的職務を掌る職」として位置づけること。
3. 学校司書を、学校教育法、教職員定数法など関係法規に位置づけること。
4. 学校司書の全校配置をすすめるため、学校司書の配置に関する地方財政措置をさらに充実させること。
5. 2021年度で第5次「学校図書館図書整備5か年計画」の終了が予定されている今、十分な実態調査並びにそれに基づく第6次計画の策定を急ぐこと。

お 名 前(フルネーム)	住 所

※この署名は、個人情報保護法に基づき、目的以外には使用しません。

取扱い団体：全日本教職員組合・（ ）教職員組合



子どもたちと本の出会いの場、学びの場、心のやすらぎの場



学校図書館の充実を！

学校図書館はすべての学校に設置することが義務づけられています（学校図書館法）。しかし、学校図書館の整備はまだ不十分です。文部科学省が学校規模ごとに定めた蔵書の目標数である図書標準達成率（図1）や学校司書の配置率（図2・図3）をみれば明らかなです。（いずれも2012年・2014年・2016年実施の文部科学省調査、2018年以降は実施せず）



図書購入費が必要です！

2017年度から第5次「学校図書館整備等5か年計画」がスタートしました。この施策を実効あるものにするには、各自治体に地方財政措置で算定された図書予算を、そのまま図書購入費として予算化させるとりくみが重要です。

高校は、文部科学省「図書標準」の定めがなく整備計画の対象になっていないため、図書整備費の措置がありません。整備計画に高校、特別支援学校も含めることを要望します。

専任・専門・正規の学校司書の配置を求めます！

2014年に学校図書館法が改正され「学校司書」が法律上に明記されましたが、「置くよう努めなければならない」とあり必置でないため、依然として配置状況は各自治体によってさまざまです。



児童・生徒が学校にいる時間帯をカバーできる常勤の割合は小中学校で1割（図3）で、非常勤をあわせても6割しか配置されていません（図2）。高校では常勤の割合は減少し続けています（図3）。学校図書館が十分に機能を果たすには、専任・専門・正規の学校司書が必要です。

図1 公立学校の図書標準達成率

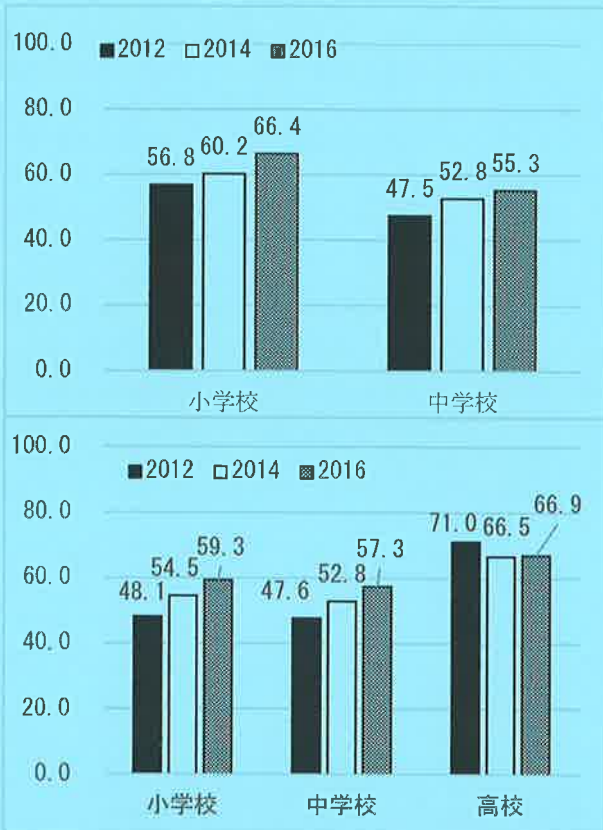
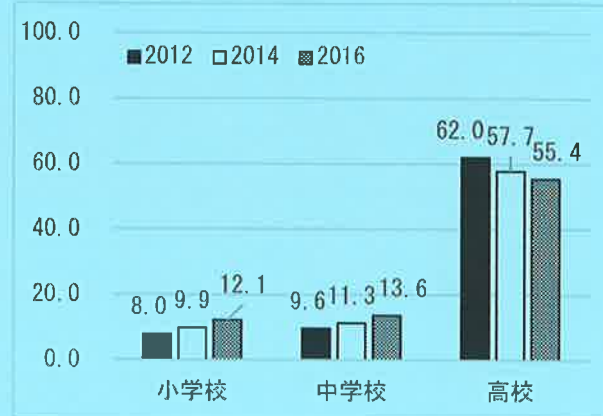


図3 常勤の学校司書を配置している公立学校の割合



全日本教職員組合（03-5211-0123）

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館

衆議院議長 様
参議院議長 様

専任・専門・正規の学校司書の配置を求める請願署名

学校図書館は児童・生徒にとって一番身近な図書館であり、学校教育において大きな役割を担っています。学校図書館は、幅広く豊かな読書により心の成長を促す、調べ学習などを通じて自ら学ぶ姿勢を培いより深い学びへと導く、情報を収集・選択・活用する力を育てるなど、児童生徒の成長を幅広く支えています。

学校司書は図書館の専門職です。子どもたちの読みたい本や学習に必要な図書資料を選択し、利用しやすいように分類・組織化をおこないます。また、児童・生徒および教職員など利用者が必要な図書資料や情報を適切に入手できるようガイダンスやレファレンスをおこないます。さらに広報、展示、特設コーナーをつくるなど、学校図書館の運営全般に係わる職務を担います。学校司書が配置されてこそ、学校図書館を教育活動に活かすことができます。

2015年4月から施行された学校図書館法に初めて「学校司書」が明記され、2016年11月には「学校図書館ガイドライン」「学校司書のモデルカリキュラム」が文科省により作成されました。

しかし、学校司書の採用にあたって「資格を全国的に一律の義務付けを行うことは困難である」として採用条件を地方公共団体の判断に委ねていることから、モデルカリキュラムを履修しても採用の保障はありません。もとより、学校司書が必置とされていないため、非正規や兼務の司書が増加し、図書館を毎日開館できない状況が増えていることは大きな問題です。

学校図書館がその機能を発揮するためには、十分な図書費や環境の整備に加え、専任・専門・正規の学校司書の配置が不可欠です。そのために、以下の項目を要望します。

記

1. すべての学校図書館に専任・専門・正規の学校司書を配置すること。
2. 学校図書館法に学校司書を「置かなければならない職、学校図書館の専門的職務を掌る職」として位置づけること。
3. 学校司書を学校教育法、教職員定数法など関係法規に位置づけること。
4. 2016年11月に作成された「学校図書館ガイドライン」「学校司書のモデルカリキュラム」が十分に効力を発揮するよう、必要な措置を講じること。

氏名	住所（〇〇県△△市□□町1-2 ←番地までお書きください）

*この署名は、個人情報保護法に基づき目的以外には使用しません。

取り扱い団体：全日本教職員組合

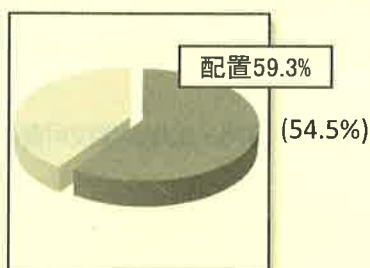
()教職員組合

豊かな学びを支える学校図書館

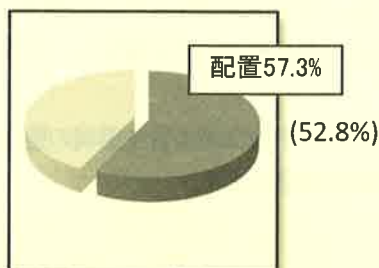
学校図書館は児童・生徒の
学習や読書活動を支援する重要な場です。
そこには、専任・専門・正規の
学校司書が必要です。

公立学校の学校司書配置状況

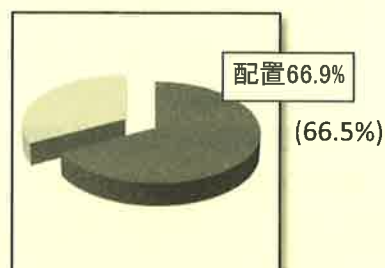
小学校



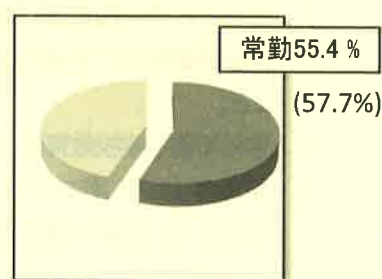
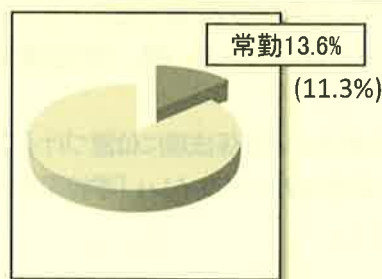
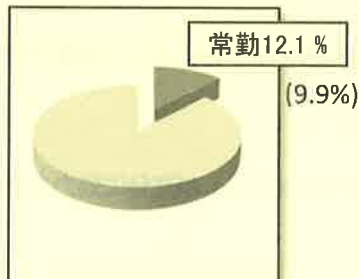
中学校



高等学校



常勤学校司書の比率



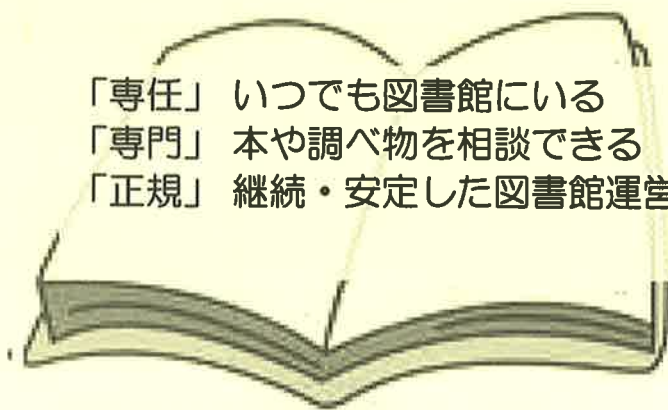
*円グラフの数値は文部科学省平成28年度「学校図書館の現状に関する調査」より。()内は平成26年度。

学校司書のしごと

- * 授業や特別活動を支援
- * 子どもと教職員の学習・研究・調査を支援
- * 子どもの情報活用力育成を支援
- * 子どもと本の出会いをサポート
- * 図書委員会活動の援助
- * 資料の収集・分類・整理
- * 他の図書館との連携



- 「専任」 いつでも図書館にいる
- 「専門」 本や調べ物を相談できる
- 「正規」 継続・安定した図書館運営



本を知り、本と人を結ぶ専門職が
学校司書です。